

平成25年7月期経営状況概要

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
8. 水道事業収益	2,339,120	189,686	762,811	32.6%	1,576,309		
1. 営業収益	2,274,380	187,140	752,378	33.1%	1,522,002		
1. 給水収益	2,248,200	186,311	748,983	33.3%	1,499,217		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	26,180	829	3,395	13.0%	22,785		
2. 営業外収益	51,120	2,545	8,172	16.0%	42,948		
3. 特別利益	13,620	0	2,261	16.6%	11,359		
9. 水道事業費用	2,182,799	98,558	252,261	11.6%	1,930,538	493,863	22.6%
1. 営業費用	1,813,971	98,369	251,759	13.9%	1,562,212	474,818	26.2%
1. 原水及び浄水費	357,499	29,187	85,688	24.0%	271,811	182,927	51.2%
2. 配水費	207,928	37,519	65,167	31.3%	142,761	98,137	47.2%
3. 給水費	80,362	13,234	28,030	34.9%	52,332	40,602	50.5%
4. 受託工事費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
5. 業務費	116,239	9,033	29,873	25.7%	86,366	102,036	87.8%
6. 総係費	140,510	9,396	43,002	30.6%	97,508	51,115	36.4%
8. 減価償却費	888,068	0	0	0.0%	888,068	0	0.0%
9. 資産減耗費	23,365	0	0	0.0%	23,365	0	0.0%
10. その他営業費用	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 営業外費用	323,255	0	0	0.0%	323,255	0	0.0%
3. 特別損失	25,573	189	502	2.0%	25,071	19,045	74.5%
4. 予備費	20,000	0	0		20,000	0	
10. 資本的収入	1,180,969	44,281	450,358	38.1%	730,611		
1. 企業債	469,000	25,000	25,000	5.3%	444,000		
2. 負担金・補償金	493,833	17,160	397,463	80.5%	96,370		
3. 補助金	89,078	0	0		89,078		
4. 出資金	122,076	0	21,007	17.2%	101,069		
5. 加入金	6,982	2,121	6,888	98.7%	94		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
11. 資本的支出	2,424,907	40,229	102,471	4.2%	2,322,436	805,638	33.2%
1. 建設改良費	1,805,806	40,229	102,471	5.7%	1,703,335	805,638	44.6%
1. 取水施設整備費	68,340	0	0	0.0%	68,340	4,914	7.2%
2. 浄水施設整備費	166,325	0	0	0.0%	166,325	42,578	25.6%
3. 配給水施設整備費	1,268,153	40,229	63,778	5.0%	1,204,375	469,738	37.0%
6. 管理施設整備費	3,150	0	0	0.0%	3,150	2,200	69.8%
7. 消防設備整備費	0	0	0		0	0	
8. 災害復旧費	299,838	0	38,693	12.9%	261,146	286,209	95.5%
2. 企業債償還金	619,101	0	0	0.0%	619,101	0	0.0%
12. たな卸し資産購入限度額	40,186	2,668	6,409	15.9%	33,777	32,819	81.7%
①有収水量	8,313,700	685,754	2,739,662	33.0%	5,574,038		
②供給単価	270.42	271.69	273.39	101.1%	△ 2.96		
③給水原価	258.40	143.45	91.89	35.6%	166.51		
人件費	254,246	15,596	90,479	35.6%	163,767		
1. 収益的収支	217,184	13,378	77,096	35.5%	140,088		
1. 職員給与費	216,318	13,378	77,040	35.6%	139,278		
2. 特別職（報酬、賃金等）	866	0	57	6.6%	809		
2. 資本的収支	37,062	2,219	13,383	36.1%	23,679		
* 職員給与費	253,380	15,596	90,422	35.7%	162,958		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.6%	10.3%	10.3%				
2. 全職員	11.3%	12.1%	12.1%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	38,515,396	38,613,623	98,226	
*減価償却累計額	15,399,585	15,399,585	0	23,214,038
B. 流動資産	2,400,403	3,007,206	606,803	
1. 現金預金	1,635,302	2,095,843	460,541	
2. 未収金	536,132	596,048	59,916	
3. その他	228,970	315,316	86,346	貯蔵品・前払い金等
C. 繰延勘定	0	0	0	
D. 水道事業費用	0	244,605	244,605	
1. 営業費用	0	244,127	244,127	
2. 営業外費用	0	0	0	
3. 特別損失	0	478	478	
1. 借方合計	40,915,800	41,865,434	949,635	=A+B+C+D
E. 固定負債	50,000	50,000	0	・修繕引当金
F. 流動負債	581,379	459,066	△ 122,313	
2. 未払金	251,213	11,532	△ 239,681	
8. 資本的収入整理勘定	326,164	393,551	67,387	3. 未払消費税4. 前受金含む
9. その他流動負債	4,002	53,983	49,981	
①下水道預り金	0	7,503	7,503	
②水道料金預り金	13	7	△ 6	
③その他	3,989	46,473	42,484	・仮受消費税他
G. 資本金	16,414,497	16,634,220	219,723	
1. 自己資本金	5,222,669	5,417,392	194,723	・固有、繰入（出資）、組入
2. 借入資本金	11,191,828	11,216,828	25,000	=企業債元金
H. 剰余金	8,470,338	8,595,786	125,447	
1. 資本剰余金	8,154,684	8,280,131	125,447	・補助金、負担金、補償金、加入金等
2. 利益剰余金	315,655	315,655	0	・H24利益
K. 水道事業収益	0	726,777	726,777	
1. 営業収益	0	716,711	716,711	
2. 営業外収益	0	7,806	7,806	
3. 特別利益	0	2,260	2,260	
2. 貸方合計	40,915,800	41,865,434	949,635	=E+F+G+H+K+減価償却累計額
a. 供給単価（円、銭）	260.37	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価（円、銭）		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	89.11	=原価算入額÷有収水量		
②シミュレーション	237.21	原価算入額に資本費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	76.78%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	79.69%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	655.07%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	456.54%	=現金預金÷流動負債		

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成25年 7月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D=B-C比較
1 調定件数	件	30,233	120,954	120,023	931
2 調定水量	m ³	679,766	2,720,831	2,733,595	△ 12,664
3 調定料金	円	186,311,015	748,982,635	747,535,075	1,447,560
4 口振加入件数	件	25,490	102,004	102,086	△ 82

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D=B-C比較
5 給水人口	人	83,733	—	84,617	△ 884
6 給水件数	件	30,175	—	29,936	239
7 開栓処理件数	件	221	1,240	1,072	168
8 閉栓処理件数	件	191	929	791	138
9 給水工事設計審査	件	89	372	351	21
10 給水工事竣工検査	件	79	348	263	85
11 経年メーター交換	件	462	1,225	1,243	△ 18
12 メーター口径変更	件	15	54	26	28
13 月末停止件数	件	△ 4	115	124	△ 9

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	195,618,500 円	73.89 %	198,904,160 円	73.40 %
15 過年度分	6,230,965 円	96.75 %	8,483,587 円	95.64 %
16 全体(計)	201,849,465 円	—	207,387,747 円	—

4 給水装置工事指定業者(指定1市外(涌谷町))

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	6	16	12	13	9	8	14	5	102	111	213

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	70/76	15/19	23/24	17/17	15/16	0/0
契約締結	一般	2	2	2	2	0
	指名	46	10	9	11	0
	随契	22	3	1	4	0
	合計	70	15	10	15	0

※入札中止 当月 0 件:累計 0 件/入札不調 当月 2 件:累計 4 件/入札取消 当月 0 件:累計 0 件/未契約 0 件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	7	0	
中間検査	2	1	
合計	9	1	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
産業建設常任委員会	1日	当初予算、補正予算について
北上川源流見学会	7日	岩手県北上川源流等の見学(40人)
第4回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	9日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
第4回経営分析会議	21日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命、その他
熱中症対策講座	25日	熱中症予防について
厚生労働省宇仁菅水道課長来庁	26日	水道事業について市長と懇談
7月期災害訓練	29日	職員、業務委託業者等による情報伝達訓練
給水拠点訓練(南方総合支所)	30日	給水拠点訓練
指名委員会	-日	第10回 7/9、第11回 7/16、第12回 7/19、第13回 7/30
入札会	-日	7/9、7/23
緊急メールの発出	-日	漏水5、破損3、取水情報4、気象3、訓練2、給水応援1 計18回
情報公開請求	-日	開示請求件数4件/11件、開示文書15件/52件

特記事項

1. 7月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益は186,311千円で、6月期に比べて3,405千円の減、前年同月比でも1,837千円の減となっていますが、累計では748,983千円で、予算と比較すると5,083千円上回っており、順調に推移しています。

当期の水道事業費用は98,558千円の執行で、累計額は252,261千円、前年同月比で40,198千円の増で、予算執行率は12.9%となっています。配水費・給水費の修繕費に39,099千円を執行したことが前年比増の要因となっています。

②資本的収支

当期の収入は、水道加入金が2,121千円で、5月期に比べて525千円の増、予算執行率は98.7%となっています。繰越分では企業債が25,000千円、補償金が4,761千円となっています。

支出は、建設改良費に6,826千円を執行、繰越分では移設工事費33,403千円を執行しました。

③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品2,642千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 第1回上水道事業運営審議会開催

第1回登米市上水道事業運営審議会を7月12日に開催しました。4月に選任された委員さん10名に委嘱状を交付、その後に会長の互選があり、推薦により天野巡一氏(青森公立大教授)が会長に選出されました。委員の皆さんの任期は、平成27年3月31日までの2年間で、市新水道ビジョンや水道事業の予算等の重要事項について審議していただきます。



(2) 優良工事施工業者表彰

市の優良工事施工業者の表彰式が、7月5日に迫公民館で開催されました。事業所では300万円以上の工事82件を対象に審査し、優良事業者として5社を表彰しました。



(3) 研修生2名を受け入れ

事業所では、7月1日より業務の委託先である明電舎・石巻環境サービス(浄水場管理業務)、フジ地中情報(料金徴収業務)からそれぞれ1名ずつ、2名の研修生を受け入れました。第1期研修期間は平成26年3月31日までとし、水道全般の研修を行い、相互の人材のレベルアップと官民連携の強化を図っていきます。

(4) 水道施設整備事業評価委員会開催

水道施設整備事業評価委員会を7月2日に開催しました。本年度から開始する国庫補助事業で保呂羽浄水場の取水施設に中間ポンプを設置し、二段汲み方式に変更する取水施設整備事業について、4名の委員により審議いただき、その結果、事業採択が適正と評価されました。

事業は、平成25年度に詳細設計と用地取得を行い、26年度から土木工事等がはじまります。

(5) 上市市へ応援給水

断水が続いていた山形県上市市へ7月23日から25日まで応援給水のため、職員4名、研修生2名と給水車1台を派遣し、3日間にわたり給水活動を実施しました。

(6) 迫桜高校2名職場体験

7月5日に迫桜高校1年生2名の職場体験が行われました。はじめに事業所の業務内容を説明、その後お客さまセンターでの水道料金の徴収業務の内容説明、午後には保呂羽浄水場の概要説明と施設の見学が行われました。

平成25年 7月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	883,974	3,553,289	3,428,300	3,517,413	124,989	35,876
総配水量	857,706	3,437,883	3,323,600	3,393,842	114,283	44,041
1 有効水量	685,754	2,989,835	2,945,030	2,931,423	44,805	58,412
(1)有収水量	679,766	2,739,662	2,739,100	2,750,399	562	△10,737
(2)無収水量	52,651	250,173	205,930	181,024	44,243	69,149
2 無効水量	119,301	448,048	378,570	462,419	69,478	△14,371
(1)漏水量	118,881	446,609	372,000	458,923	74,609	△12,314
(2)その他無効水量	420	1,439	6,570	3,496	△5,131	△2,057
3 有収率	79.95	79.69	82.41	81.04	△2.72	△1.35

※当月期の最大配水量は、7日(金)に記録した【30,605m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	7	68,340	2	4,914	0	0	63,426	7
イ 浄水施設整備事業	13	166,325	3	42,578	0	0	123,747	26
ウ 配給水施設整備事業	88	893,891	23	102,944	4	24,122	766,825	14
エ 繰越事業	23	674,100	19	550,405	4	78,349	45,346	93

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 4)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.80	0.39	0.35	0.49	0.34
最低	0.76	0.17	0.55	0.18	0.16
最高	0.86	0.64	0.67	0.69	0.40

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H25.7.26	<0.60	<0.70	錦織水系浄水場	H25.7.26	<0.60	<0.70
石越浄水場	H25.7.26	<0.60	<0.60	米谷水系浄水場	H25.7.26	<0.40	<1.00
大萱沢浄水場	H25.7.26	<0.50	<0.60	楼台浄水場	H25.7.26	<0.60	<0.70
米川水系浄水場	H25.7.26	<0.60	<0.60	—	—	—	—

特 記 事 項

1 豪雨による被害が発生

5月、6月の渇水が一転して、7月に入ってから集中的な豪雨や長雨が続きました。この影響で市内の河川においては増水と一体的に濁度も上昇し、迫川を水源としている石越浄水場の浄水処理が6日間(18日~21日、27日~28日)運転できなくなる事態に陥りました。

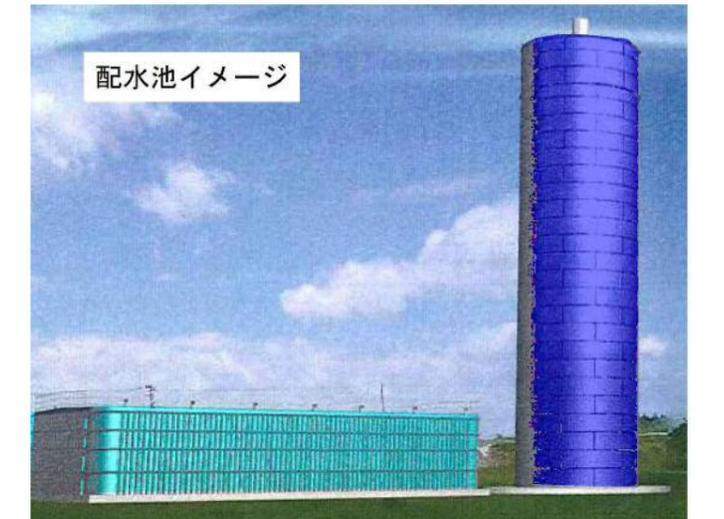
また、保呂羽浄水場の水源である北上川ではゴミや倒木等が河川に流出し、22日には下り松取水塔に大木が流れ着きました。取水には直接影響ありませんが今後の管理と景観を考慮し撤去に向けた検討を行った結果、現時点での作業は巨木のため、台船を含む仮設工事に多くの労力が必要と想定され経費も多大になることから、当面は水面上の枝を切り払いながら、幹本体は渇水期に予定している取水塔廻りの浚渫作業などの際に取り除くこととしております。



2 仮称「新田配水池」詳細設計業務委託を発注

災害時おける。水道水の安定供給の確保に向けた配水ブロック化計画の一環事業として、本市西部地区に予定している新設配水池の建設地が確定したことから、詳細設計業務委託の発注を行い、7月25日付で契約を締結しました。受注者は(株)日水コン東北支社で18,795千円の契約額で、7月26日から3月20日までの委託期間です。

当該配水池の計画規模は4,000m³で、市西部地区の水量水圧不足区域の約32,000人に対して、概ね12時間の水道水を確保するもので、運用開始は平成27年度を予定しています。



3 地震発生状況

震度3以上の地震発生はありませんでした。